雲龍院から今日も京都の街の平穏を見守り続けるお不動さんをごゆっくりとご覧下さい。

珍しい左足垂下の雲龍院のお不動さん

『不動明王半跏像』修復前の特別公開

雲龍院秋の特別拝観2020

展示期間 2020 11/20［金］>11/30［月］

右手は屈臂して右腹前で鉄製剣を執り、左手は屈臂して手先を前に出して肩辺まで上げて羂索を握り、右脚を横たえ、左足を垂下して岩座に坐す不動明王半跏像。

このたび、京都市の京都仏教美術調査会の詳細な調査により、雲龍院に安置されている不動明王像の修復が決定致しました。

不動明王の語源は、「動かない守護者」を意味し、暴風雨の威力を神格化したもので、破壊的な災害を起こす半面、雨によって植物を育てます。その破壊と恵みの相反する面は不動明王にも受け継がれています。不動明王は仏法の障害となるものに対しては怒りを持って屈服させますが、仏道に入った修行者には常に守護をして見守ります。

大日如来の化身として、どんな悪人でも仏道に導くという心の決意をあらわした姿だとされています。特に日本で信仰が広がり、お不動様の名前で親しまれています。不動明王の脇侍として八大童子のうちの矜迦羅・制多迦の２童子が配されることも多いです。

雲龍院の不動明王像は、左足垂下の珍しい形の不動明王像で、太造な迫力のある姿です。半跏不動像は、絵画作例では多くは右足を垂下し、左足を垂下する例は少ないようです。彫像では半跏像自体が希少ですが、京都・安楽寿院北向不動像は右足を垂下し、奈良・東大寺像は左足を垂下しており、本像の面相は大師様と十九観様が混ざった相となります。

不動尊像の制作年代は、独特の荒々しい作風のために判断し難いですが、両脇侍像とは異なる作風を示し、両脇侍像を江戸時代中期以降の制作とすれば、不動尊像は少なくとも江戸時代初期、あるいは室町時代に遡る可能性があります。

不動明王は、除災招福、戦勝、悪魔退散、修行者守護、厄除災難、国家安泰、現世利益のご利益があるとされます。普段は雲龍院本堂の右脇室に安置され非公開ですが、この度の修復決定に伴い、秋の特別拝観で特別公開させていただきます。

コロナ禍でたいへんな世の中を、静かに見守る不動明王像。するどい眼光で、早く平穏な世の中になるように願うお姿をごゆっくりとご覧ください。

雲龍院までのアクセス

- ●市バス（202·207·208番「泉涌寺道」下車）循環バスにつき東向きに運行しているバスにご乗車下さい。
- ●JR京都駅より市バス208番·近鉄東寺駅より、市バス207番「泉涌寺道」下車徒歩15分
- ●JR奈良線東福寺駅·京阪東福寺駅徒歩20分

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、拝観時はマスクの着用をお願い致します。
- ●感染予防対策のため、境内が混雑している場合や密な状況だと判断される場合には、拝観をお待ちいただく場合がございますのでご了承ください。
- ●京都市の感染状況が悪化していると判断される場合には拝観を中止させていただきます。

重要文化財指定

本堂 龍華殿

昭和四十一年に重要文化財に指定された本堂の龍華殿は、さわら材を竹の釘で打った雄大なこけら葺きで今ではたいへん貴重なものとなっています。雲龍院は、南北朝時代の後光厳天皇と三代にわたる菩提寺院で、特に後円融天皇が写経の功徳をご信奉になり、如法写経を発願され、それ以降如法写経の勤修は雲龍院に受け継がれております。

雲龍院 本尊

薬師如来三尊像

「お薬師さん」の愛称で知られる薬師如来は、瑠璃光王や大医王尊等と呼ばれることがあり、お医者様の役目を果たす現世利益の仏として親しまれてきました。当院は、西国薬師霊場第四十番札所で、藤原時代作の本尊薬師如来坐像を中心に日光·月光両菩薩を両脇に安置祀られています。

天皇発願の写経道場

雲龍院お写経体験

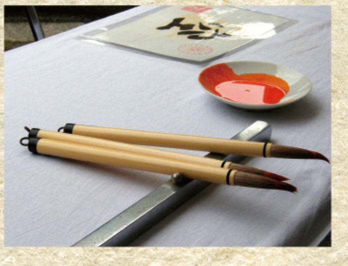
雲龍院では、写経道場でお写経をしていただけます。香で手を清め、朱墨で写経を行い、最後にお庭を見ながら抹茶やお菓子を頂けます。

- ●お一人様1500円（拝観·抹茶料込）
- ●特別拝観期間中は霊明殿で行います
- ●受付は午後3時00分迄（予約不要）

2020年12月20日（日）予定

ひと文字写経奉納

今年一年の無事御礼と、明年の無病息災を願った雲龍院の年末恒例行事の薬師御用納め「ひと文字写経」を、雲龍院薬師三尊にお納めして頂きます。【通常拝観は休止致します】



成人の日は泉涌寺七福神巡り

走り大黒天

泉涌寺の新春恒例行事の七福神巡り。雲龍院では台所に大黒天を祀っており ます。俵の上に乗った長者の大黒様とは異なり、大きな袋を背負ったわらじ履きの大黒様が、いち早く皆様方へ幸福をもたらしてくださいます。【通常拝観は休止致します】

雲龍院公式 WEB サイト 雲龍院 検索 http://www.unryuin.jp

雲龍院（Facebook） 雲龍院（Instagram） tripadvisor 雲龍院

雲龍院の情報は公式ＷＥＢサイトをはじめ、「雲龍院の寺庭婦人のブログ」http://ameblo.jp/unryuin/ や各ＳＮＳで発信中です！